

MIST 学会員各位

拝啓

平素よりご高配を賜り、誠にありがとうございます。遅くなりましたが、第 28 回関西 MIST 研究会の開催報告をさせていただきます。

今回のテーマは、“達人から学ぶ MIS 手技のエッセンス” でした。158 名の医師やコメディカルに御参加いただき、とても盛況に会を終えることができました。本当にありがとうございました。

シンポジウム 1 ではベーシック手技編として頻度の多い手技を中心に経験豊富な全国の先生方からご講演いただきました。近畿大学奈良病院の戸川大輔先生には BKP について、安佐市民病院の大田亮先生には顕微鏡下腰椎後方除圧術について、春陽会中央病院の寺山星先生には FESS について、交野病院の上田茂雄先生には LIF について、慶友整形外科病院の橘安津子先生にはオープン TLIF についてご発表いただき、すぐ臨床に活かせるコツやピットフォールをたくさん学べました。

シンポジウム 2 ではアドバンス手技編として、少し頻度は減るけどもできたらいいなと思う手技を中心にご講演いただきました。京都第一赤十字病院の森弦先生には外視鏡手術について、日本医科大学付属病院の小野孝一郎先生には PETLIF について、長崎大学の田上敦士先生には ME-ELIF について、聖隷浜松病院の佐々木寛二先生には UBE について、関西医科大学の石原昌幸先生には lateral access corpectomy についてご講演いただきました。各手技についてとても分かりやすく講演していただき、短時間で多くの手技を学べる場になったのではと思います。

久々の一般演題セッションには 5 題の登録をいただきました。どの発表も非常に面白い内容でしたが、投票の結果、香芝旭ヶ丘病院の井上大典先生が「前弯形成を意識した腰椎椎体間固定術～Anterior Release PLIF～」という演題名で最優秀演題賞を受賞されました。おめでとうございます。

特別講演 1 では、韓国釜山にある Baroseomyeon Hospital の JU EUN KIM 先生に“Principle of UBE (unilateral biportal endoscopy) in spinal pathology”の演題名でご講演を賜りました。UBE の基本的な手技からピットフォールまで分かりやすくご講演いただき、質問も多く大変盛り上がりしました。

特別講演 2 では、西村証券株式会社取締役社長の西村永良様に“高齢化が進む日本で老後の生活を考える”というテーマでご講演を賜りました。医療人とは違う目線で見えた日本の将来について、投資の必要性なども含めてご講演いただき、とても刺激的な講演をいただきました。通常の学会では聞けない内容で、とてもよかったですと思います。

若手ドクター・コメディカル向けのハンズオンセミナーは例年通り好評でした。豚を用いた模擬手術体験が 8 テーブル、ポーンモデルを用いた BKP 体験が 4 テーブルでしたが、ほとんどの方に体験していただけたと思います。実際の豚の骨を用いた模擬手術は特に人気で、これは是非とも継続したい企画だなあと感じました。

コメディカルの演題発表も大変盛り上がりしました。最優秀演題賞には関西医科大学の田淵 奈々子先生が「Google ドライブを活用した看護師教育」という演題名で選ばれました。優秀演題賞には和歌山県立医科大学附属病院紀北分院の京極恵理子先生が「2 椎体骨粗鬆症性椎体骨折に対する BKP における骨セメント準備」という演題名で選ばれました。本当におめでとうございます。

懇親会はグランフロントのレストランで行いました。85 名の医師、コメディカルに御参加いただき、表彰式やビンゴもあって大変盛り上がりしました。

たくさんの方に御参加いただき、本当に有意義な研究会にすることができました。改めまして御礼申し上げます。来年度は兵庫医科大学の圓尾圭史先生が当番幹事で、10 月頃に開催予定です。

敬具

当番幹事： 洛和会丸太町病院 脊椎センター 原田智久

